



校友会だより

校友会誌

平成24年
2012年
第11号

母校は、平成15年度に男子校から、共学化し普通科にコース制を採用して10周年を迎える。

昨年、新校舎が竣工し旧校舎の耐震工事や本館東側の憩いの広場である

新庭園も完成して、かつての大商大高校のイメージを大きく変える新鮮な雰囲気を漂わせて、まさに“新生大商大高校”を感じさせる。

去る2月の平成24年度の入学試験においても、1,500名を越える受験生が母校の門を叩いた。授業料の無償化が採用されているとはいえ、生徒募集では厳しい現状に

共学化・コース制から10年目！

“新生大商大高校へ”

ある私学にとって、母校では、500名を超える新生を確保している状況である。

いつまでも甘んじていてはと思うが時代の変化が激しい中、生徒や保護

者のニーズにどう応えるかを真剣に考え取り組み、一年一年コース制の中身を見直された結果として、校長先生を中心とした先生方の努力が実を結んでいるものと思う。

校友会としては、発足以来10年を超え、母校に出来る限りの支援をさせて頂き、輝かしき伝統にさらなる磨きがかかることを祈念してやまない。



新校舎完成図



本館校舎東側の憩いの広場

誌面ご案内

会長・学校長あいさつ・歴代の校長先生	2
第82期生349名 校友会会員に・卒業者数の累計	3
会員寄稿文	4
特別寄稿 オーストラリア修学旅行	9
平成23年度 校友会総会	10
平成22年度 事業報告・会計収支報告	10
平成22年度改選 役員一覧表	10
総会風景・懇親会風景	11
2011年度 クラブ実績	12
簿記検定合格者数一覧表・大学進学状況	13
デザイン美術コース コンペ受賞一覧表	13
体育クラブ 各種大会一覧表(平成24年度)	13
卒業証書授与式での「答辞」	14
平成24年3月 卒業生進路状況・賛助広告	14
賛助広告	15
校友会活動賛助金・賛助広告のお願い	19
役員への要請・校友会誌の原稿募集	19
平成23年度 賛助金・賛助広告協力者芳名	19
平成24年度 校友会総会のご案内	20

校友会の公式ホームページ
URL <http://kouyuukai.org>

「校友会総会を迎えて」

校友会会長 岡田 誠一



昨年は、3.11 東日本大震災の悲劇が日本中を襲った年であり、生命の尊さを改めて教えられた一年であった。その教訓を活かし、母校では耐震設備の整った新校舎が完成するとともに、旧校舎の耐震補強工事も無事終了した。

先日、母校の第82回卒業証書授与式に出席し、新しく349名の卒業生を校友会にメンバーとして迎え入れることができた。

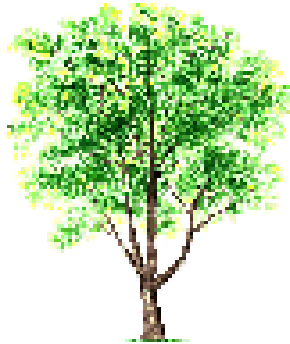
我が母校は、創立以来、総数28,028名の卒業生を世に送り出してきたことになる。

厳粛な中にも華やかさのある式典だったのは、毎年増え続けている女子卒業生が今年も70名にも上ったからだろうか。古い卒業生も前途輝かしい若者の晴れやかな姿に元気をもらうことができた。

「校友会総会」が年配の校友会員同士が懐かしい思い出を語り合う場であるのは勿論、古い校友会員と若い校友会員の新しい出会いの場、交流の場として有意義なものとなるよう大いに期待している。

校友会誌にも、企業賛助広告をお願いして活動賛助金とし、諸々の事業を実行することができた。昨年から新たに名刺広告のスペースも設け、会員皆さんの協力をお願いしている。このスペースも大いに利用していただき、お互いの事業活動の輪、交流の和をより一層深めていただきたい。

公私ともに、お互いに手を取り合っていける校友会であれば願っている。



歴代の校長先生(敬称略)

初代	谷岡 登	昭 3. 4. 1 ~ 昭 13. 3. 31
2代	山田 楊之助	昭 13. 8. 20 ~ 昭 14. 5. 10
3代	竹谷 辰郎	昭 14. 11. 2 ~ 昭 18. 3. 11
4代	谷岡 拓磨	昭 18. 3. 12 ~ 昭 23. 3. 31
5代	谷岡 登	昭 23. 4. 1 ~ 昭 24. 3. 31
6代	谷岡 拓磨	昭 24. 4. 1 ~ 昭 42. 3. 31
7代	谷岡 太郎	昭 42. 4. 1 ~ 昭 44. 8. 31
8代	小林 得一郎	昭 44. 9. 1 ~ 昭 54. 3. 31
9代	湯原 俊雄	昭 54. 4. 1 ~ 昭 61. 3. 31
10代	柴田 巖	昭 61. 4. 1 ~ 平 4. 3. 31
11代	久間田 博幸	平 4. 4. 1 ~ 平 9. 3. 31
12代	中山 次郎	平 9. 4. 1 ~ 平 12. 3. 31
13代	厚母 眞一	平 12. 4. 1 ~ 平 16. 3. 31
14代	尼子 東吉	平 16. 4. 1 ~ 平 20. 3. 31
15代	大塚 信一	平 20. 4. 1 ~

「校友会総会開催を祝して」

母校校長 大塚 信一



校友会の皆様におかれましては、ますますご清栄にして、ご活躍のことと心からお喜び申し上げます。

日ごろのご協力、ご支援にお礼を申し上げます。

本校は、「世に役立つ人物の養成」を建学の理念として掲げ、その現代的解釈の四つの柱

思いやりと礼節 基礎的な実学 柔軟な思考力 楽しい生き方 にもとづいて教育活動を展開しています。

『共学』と『明るく元気な学校』『地域に根ざした高大高校』というイメージが地元を中心に好意的に受け入れられ、本年4月には、第85期生として500名を超える新入生(内女子生徒約25%)を迎えることができました。その中には、卒業生子弟、在校生の兄弟姉妹も多数含まれています。

これも、2万8千名を超える卒業生の皆様が、社会の各分野でご活躍されていればこそと感謝しています。

新校舎建設・耐震改装工事・本館東側の憩いの広場が完成し、校舎内の完全二足制の実施と、新しい環境での学び舎となっています。校友会の皆様もぜひ学校訪問していただき、新しい環境の見学などをしていただきたいと思います。

卒業生たちは、次のような実績を残しました。

進学実績としては、大阪商業大学・神戸芸術工科大学・大阪女子短期大学の系列大学をはじめ、引き続き同志社大学、関西大学、立命館大学、龍谷大学、近畿大学、桃山学院大学への進学者を出しました。

デザイン美術コースでは、読書感想画中央コンクール、全日本高校デザイン・イラスト展など各種コンクールで入賞しています。

クラブ活動の分野では、バスケットボール部が創部83年目にインターハイに出場(残念ながら2回戦敗退)することができました。ゴルフ部は、国体や全国高等学校選手権大会出場など着実に力をつけてきています。

学習・学校生活の分野では、生徒や保護者の「学校生活の満足度」さらにアップしていくために、

挨拶で溢れる学校

一人ひとりを大切に、元気で笑顔の絶えない学校 学習環境、設備施設のさらなる改善

方向性を明確にしたカリキュラムづくり

の取り組みをさらに進めていきたいと思っています。

私たちは、諸先輩が築いてこられた、よき校風や伝統を継承しつつ、益々の充実と更なる発展飛躍を達成するために、教職員一同日々の教育活動に精進しております。

最後になりましたが、卒業生の皆様のご健勝と、校友会のますますの発展をお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

第 82 期生 349 名 校友会会員に



平成 23 年度 第 82 期生の卒業証書授与式は、本年 2 月 18 日(土)晴天の良き日に、母校体育館において挙行された。

体育館の中心に向かって西側のステージを背に当日の主役である卒業生席が、北側の中央に金屏風を背に演壇が設えられ、向かって左に学校長をはじめ管理職席と右側に来賓・PTA 役員・商栄会(PTA 役員 OB 会)席が、東側に保護者・

校友会役員席が、南側に教職員席といった配置であった。

定刻に学級担任の引率によって当日の主役である卒業生がブレザーの胸にコサージュを付け、紅白の幕が張られた会場に入場し、ステージに登壇して 1 人ずつ舞台中央に進み出て、担任教諭から氏名が読み上げられ一礼して自席に着席するという新しい試みであった。教務主任の宮本高志先生の司会で開式に先立って来賓の方々が紹介され式が始まった。

はじめに、堀井純教頭先生より学事の一部が報告された。本年度の卒業生は、昭和 7 年 3 月、旧制大阪城東商業学校の第 1 期卒業生から通算して第 82 期生で、昭和 24 年 3 月新制高等学校の第 1 期から数えて第 64 期生にあたる。卒業生総数は、28,028 名に上った。

また、平成 15 年度から普通科にコース制が採用され、共学制が発足して 7 回目の卒業証書授与式にあたり、女子生徒も今年卒業した 70 名を加えて 203 名になった。

BGM の流れる中、各クラスの担任教諭から代表者が紹介され、卒業生は自席に起立して代表者がセンターに設置された舞台上で学校長大塚信一先生から卒業証書が授与された。



学校長の式辞に続いて、来賓の谷岡学園理事長・大阪商業大学学長谷岡一郎先生の祝辞、PTA 会長野島一枝氏からの励ましの言葉が述べられた。

次に、在校生代表からの「送辞」に続いて、卒業生代表 5 名から「答辞」が述べられた。(答辞の全文を p.14 に収録)

最後に、校歌を斉唱して式は滞りなく終了した。

卒業生の退場は、クラスごとに中央で横一列に整列し、“有り難うございました”と一礼の後、式に参列した人たちの手拍子に乗って、全員爽やかな顔をして式場を後にした。教室では、最後のホームルームで、それぞれの健闘を祈りつつ再会を誓い合ったことでしょう。

素晴らしい卒業証書授与式に参列して、若い人たちのパワーを吸収し、爽やかで晴れ晴れした一日であった。

(文責 宮原 健)



卒業生数の累計

第 82 回 卒業証書授与式 平成 24 年 2 月 18 日現在

学 校 名	全 日 制			定 時 制		合 計		累 計
	商業(男)	普通(男)	普通(女)	商業(男)	商業(女)	男子	女子	
大阪城東商業学校(旧制) 昭 6 年度~昭 25 年度	2,735			1,339		4,074		4,074
城 東 高 等 学 校(新制) 昭 23 年度	16					16		4,090
大阪城東大学附属高等学校 昭 24 年度~昭 26 年度	206	84		139		429		4,519
大阪商業大学附属高等学校 昭 27 年度~平 3 年度	5,875	10,970		591	26	17,436	26	21,981
大阪商業大学高等学校 平 4 年度~平 22 年度		5,591	107			5,591	107	27,679
平成 23 年度(第 82 期生)		279	70			279	70	28,028
小 計	8,832	16,924	177	2,069	26	27,825	203	
合 計		25,933		2,095		28,028		

大阪城東商業学校の 全日制商業科 = 第 1 本科, 定時制商業科 = 第 2 本科 と読み替える。

附属中学校は、昭和 30 年 4 月以降、生徒募集中止。

旧制商業学校・高等学校・中学校の 総計 29,199 名

大阪商業大学附属中学校	昭 22 年度~昭 31 年度	1,171
-------------	-----------------	-------

会員寄稿文

「生輝会」

第13期(昭18年12月卒) 白藤 勇三

生輝会は、昭和18年12月卒業の第13期生です。入学当初は、50名位だったが途中で二部(夜間部)と、併設校から十数名が加わり70名近くになったと記憶しています。担任として島田・馬場・飯田・三輪・小林先生にお世話になりました。学徒動員で繰り上げ卒業となりました。卒業式の記憶はありますが、アルバム等はなく定かではありません。70周年記念誌にのせて戴いています。

生輝会発足当初は、奥田重男君が中心となって運営してくれました。小林得一郎先生の盡力と福西先輩のおかげで成長してきました。奥田君からバトンタッチをした頃は2年に一度開催して、時には一泊して楽しむくらいに活動しました。小林先生から頼むといわれ、永久幹事になりました。2・3年ごとに色々な趣向で会をもち、20名位はいつも集まってくれました。しかし、無念ながら小林先生を亡くし、会員も消息がわからない会員がふえ寂しくなってきました。



第10回 生輝会 於 なにわ会館 平成5年5月14日

「有志会」

平成23年3月18日(金)数年ぶりに畑中達司君のお世話で柏原市健康保養センター「サンヒル柏原」で昼食を共にし、交友を深める機会をえました。

出席者は、下の写真の6名でした。



織田 博

吉村 馨 畑中達司 松村光康 白藤勇三

乾 昭

「在学時代の思い出」

(一) 昭和14年入学した頃、明治の元老であって、元枢密院議長をされた清浦奎吾元老が来校されるというので、学校をあげて興奮していたことを覚えています。学校の玄関に記念碑がたっていました。

(二) 繰り上げ卒業の最後に、学徒動員で森ノ宮の軍需工場へ、女子生徒を引率して活躍しました。一番記憶にあるのは、空襲をうけて防空壕へ退避中、女子生徒が手首を撃たれ血みどろになっていたことが一番悲しい思い出です。また、オーストラリアの捕虜が数名くられ乍ら働かされていたのを思い出します。この飛行士が日本を攻撃したと思うとにくくもあつたし、捕虜となっているのをこんな仕打ちをしてと思う気持ちもありました。終戦後、環状線に乗るたびに焼け野原になっている姿をみて、早く復興してくれる様心からおもいました。

(三) グライダー部について。グライダーなどに全く知識もなく興味ない私が何故グライダー部に入ったのか未だにわかりません。訓練の末、地上滑走から少し上がるまで飛ぶところまでになりました。いまだに何故グライダーをしたのかわかりません。

「小林得一郎先生の思い出」

第13期(昭18年12月卒) 吉村 馨

定年退職後、趣味の歴史探訪を行っていた平成2年に大阪商業大学・谷岡記念館の「河内の郷土文化サークルセンター」に加盟しました。その折に記念館々長としてお世話してくださったのが生輝会の恩師・小林得一郎先生でした。以来会合の後で帰り際に館長室へお伺いしますと元気よく透る声で色々な話をされて、地域に根ざした学問の場にふさわしい「館長さん」ぶりに敬服したものでした。

主に旧中河内地域の文化サークルの構成でしたが、毎年の「サークルセンターの集い」や周年記念の行事は「歴史も清き河内野に 百尺高く聳え立つ」と謳われた思い出深い三階講堂で開催され記念講演や創作品展が好評でした。小林先生はその都度必ず観覧をされ厳しい評価や力強い励ましを率直に語ってくださったことが思い出されます。一昨年創立25周年を迎えた「河内の郷土文化サークルセンター」は、大阪商業大学の全面的な支援をうけて益々盛大な活動を展開されていますが、急逝されました小林得一郎先生の陰のご尽力も忘れられないと思います。私にとりましては「母校の校友会」といえば「小林得一郎先生」そして「谷岡記念館」さらに「河内の郷土文化サークルセンター」へと連鎖する懐かしい思い出でもありあます。 合掌

郷土文化サークルの集い「創作活動展」
於 谷岡記念館 講堂 H7.11.26



「戦時下の学園の想いで」

第13期(昭18年12月卒) 畑中 達司

吾々城商13期生の学園卒業アルバムは空襲による写真屋さんの焼失で残念乍ら残っていない。国家総動員令により卒業は12月に繰り上げられた。全国の商業学校名は工業学校に改編され4・5年生は学業はおあづけ、軍需工場への勤労働員にかりだされた。

在校3年生の時、全校生徒校庭に集合。太平洋戦争の開戦布告を告げられ華々しい戦果に驚嘆。吾々が国力に軍国少年として洗脳教育された。吾々は意気揚々と胸を張って万歳の氣勢をあげた。

大戦勃発と同時に米・英・ソ、敵国用語は禁句。学業科目も即刻「英語」廃止。「中国語」の必須に切り替えられた。洋式スポーツクラブ(テニス・バスケット等)廃部。変わりに戦場競技部として武装競争・城壁登はん競技・模擬演習等に。1・2年生当時は、多少の自由、軟派、硬派の学生気質も大戦後は一挙に自由は奪われ、身辺は教護連盟(教員)の見張りに拘束された。女学生(高女生)との交際・合コン・通学時間帯(小阪-上本町)最寄り駅発女学生は専用電車に男子生徒は一般車両に区別された。

戦況著しく敗色濃厚に吾々の先輩(2・3年)大学高専の学徒出陣は勇々しい劣勢に立たされ戦場へ国家に身を捧げるのが大義と教えられた。

しかし、心の底には「生」のつづやきがあった。異様な戦時下の学生生活は当時の状況止む得ざる環境とはいえ、早や終戦66年余り最早や過去の事実と風化しつつあるが後輩に今日認識の上に立って平和につながることはこれからの日本に意義あるものと思います。

「あの日のこと」

第13期(昭18年12月卒) 荒牧 誠二

恩師小林得一郎先生が逝去されて、今年で何年目になるのか不肖の教え子の私は判然としませんが、今でも忘れられない思い出があります。いつの頃からか生輝会の集りの時、私の車で先生を送迎させて頂くのがならいになり、或る年奈良の会場へ向かう折に先生は「荒牧、大阪商大附属高校の校長室を見に行くか?」と言われましたが、私は地理にも不案内だったせいか「先生、それよりも早く行きましょう」と。今、その時何故断ったのか折角先生が見せようと仰言ったのを...と、悔やまれてなりません。それで先生をお乗せして走って居ましたら急に物陰からピッピッピーと笛を鳴らした警官に停車を命じられ、用紙を突きつけ署名捺印せよとの事、余りの理不尽さに立腹した私は「お前ら、スピード違反でもないのに点数稼ぎか何か知らんけど、かくれて急に出てきて何や」と怒鳴りました。シートベルト 不着用とのこと。先生は「荒牧、そんなこと言うな、認めて署名せよ」と。私は思はず「はい」と答へてその通りに致しました。それから会場までの道筋も先生に教へ頂きながら無事到着しました。

帰路、友人二人(名前は残念ながら思い出せません。たしか今井君?だったか...)が疲れてしんどいので家まで同乗させて欲しいと頼まれ4人で帰阪し又々先生にそれぞれの家の道順を教へて頂き2人を送りました。

アリガトウと言い乍ら小走りに帰って行った後姿も何故か忘れられません。

先日、白藤君から電話で最後の生輝会だからと誘っていただいたのですが、一昨年暮れに大腿骨頸部骨折して以来、足腰も覚束なくなり残念ながら欠席と申しましたら、それでは何か一文を...と言われ断り切れずに引き受けはしたものの結局、老妻に口述?筆記させました。

永い間の友情を感謝し、諸君の御健康を心より祈って居ります。

「城東商業時代の思い出」

第13期(昭18年12月卒) 織田 博

城東商業時代の思い出、又は感じた事と云いまして、小生はあまり目だたない存在でもあった様な気もしますし、したがってあまり目立つ様な事をした記憶もありませんが...感じた事や小林先生との思い出の一端を述べさせて戴きますと、第一に「生輝会」と云う同窓会名については、あの戦時中に国の方針として、又、思想とした滅死奉公とか「葉がくれ」と云う書には「武士道とは、死ぬ事と見つけたり」とか書いてあったり、軍隊に入るときは、国の為、天皇のために死を覚悟するとした時期に「生きて輝く」とは何と素晴らしい名前を付けて下さったかと小林先生の卓見に感激します。

先生との思い出としては、私が教室でのろのろと掃除をしている時、小林先生が自分の箒を持って掃き乍ら横に来られて「春の海 いつでも のたり のたりかな」と云う俳句でやさしく、而し、厳しく指導をして下さいました。又、1週間か1ヶ月間か忘れましたが、提出した日記の後尾に「強く、正しく、清らかに生きなさい。」と記して下さったのを今でも憶えています。亦、珠算を熱心に教えて戴いたお蔭で、二級の免状を戴き、旧松下電工に就職したときには、給料計算係として会計のほうへ廻されました。

学校の思い出としては、剣道部に入り、当時初段の亀井君と道場で切り返しを一時間行っても勝負がつかず引き分けになった事や、よく朝遅刻して校門で止められてそれから校庭を上半身裸で何周も走らされた事、マラソン大会で校門から枚岡迄走ってクラスだけか校内全部か分かりませんが5・6番に入り、マラソン・長距離に自信を持った事等を憶えています。それから授業の4時間目頃になると、近くのハウスカレーの工場から良い匂いがしたのを、今迄も食欲旺盛な小生としては、特に記憶にあります。

フ ッ チ ャ ン 「岩淵先生の思い出」

第13期(昭18年12月卒) 乾 昭

昭和18・19年ごろ、卒業後日本アルミニウム社に勤務していた時、突然岩淵先生が会社に現われ、会社に話をつけてきたから、『プラスバンド』をつくりなさい。との事、後は何の話もせずに『頑張りなさい』とだけ言って雪の中を帰っていかれた。その後姿が今も頭にしっかり残っています。

その後、会社から楽器を揃えてもらい、いろいろ活動できた事を有難く思っています。

その後、終戦の混乱期でお会いすることもできず残念至極です。

「私の“修学旅行”」

第21期(昭26年卒) 澤 邑 知 明

修学旅行といえば小学校・中学校・高等学校と、諸兄・諸氏には色々な思い出を沢山お持ちのことでしょうが、昭和7年生まれの小生には残念ながら、たった1回、それは高校3年生のときのみである。

当時の小学校の修学旅行は、前年迄は伊勢神宮に決まっていたが、私達は昭和19年、あの忌まわしい大東亜戦争の敗戦の直前で、全国的に都会の小学生(3~6年生)は縁故を頼って個人疎開するか、集団で疎開するか、何れにしても強制的に疎開を余儀なくされていた。私は友達に居る集団疎開を選び、昭和19年9月から翌20年2月まで(3月に卒業の為)約半年間、信貴山の山上の観光旅館5ヶ所を“寮”として下級生らと寝食をともにしていた。歌の文句ではないが「竹の茶碗に竹の箸、仏様でもあるまいに、一膳メシとは情けなや」の日々を送らされていたので“修学旅行”は無く、約半年後に帰宅はしたものの、3月より大空襲が始まり、卒業式も、昨年の東日本大震災(3月11日)で被災された方々の様に簡略なものであった。

大空襲直後で無試験入学した布施工業学校(現、商大高校)も敗戦の為、2年生は元の大阪城東商業学校となり3年生は大阪城東中学校と翻弄されていた時代、世相は荒廃しており勿論、中学校も“修学旅行”どころではなかった。

主食である米は戦時中に配給制になり、“米穀通帳”なるものが発行され当時一人あたり1日に二合八勺、敗戦色が濃くなった18~19年頃には二合一勺、それも遅配がちで“白いメシ『銀シャリ』を腹一杯食べたい”が国民の多くの願望の時代。欲望を満たす為には勿論闇市で調達せねばならない。外食する場合は届け出て外食券なるものを交付してもらい、その分米穀通帳に記載されて次回の配給時に減量されるといった具合。修学旅行は、勿論、お米持参。4日分布袋に入れて先生に預けた。

昭和25年、高校3年になってやっと初めての修学旅行についての話題が出てきたときは胸が躍ったことが60年後の今でも胸に浮かんでくる。



商業科A・B組と普通科P組の3クラス全員で約120~130人位だったと思われるが、担任の小林得一郎先生から「修学旅行について、東京方面が良いか?九州方面が良いか?」確か生徒会で相談して決めよとのことだった。当時、九州には行く機会が少なく、東京には社会人になったら出かける機会が多いと思われ皆で相談の結果、別府温泉・阿蘇山に決めて先生に報告しに行った事も思い出した。昨今と違って一般的に家族旅行など考えも及ばず旅はバラ色の夢一杯。

いよいよ25年11月待ちに待った初めての修学旅行。(関西汽船の船旅で往復の船中2泊、別府鉄輪温泉1泊、阿蘇坊中1泊)勿論、先に述べたとおり主食である米、確か一升ずつ持参である。各自、天保山に集合。関西汽船の“にしき丸1500t”が待っていてくれた。いよいよ乗船。船底ではあるが夜遅くまで円座になって、応援団に合わせて手拍子と大声ではしゃいだ光景が今でも胸の裏に焼きついている。また、就寝時、ズボンにアイロンの代わりに線を立てるため、敷布団の下に寝敷きしているのだが、悪戯に敷布団をわざとずらして、朝起きると皺くちゃになっているのを見て皆で笑ったり、そのほか他愛の無い悪戯を楽しんで疲れた後は大きな機関の音を手守唄に夢路についた。

翌朝から昼頃まで瀬戸内海は鏡のように波も静かで、甲板に出てあちこち船内を楽しんでいたが午後になって船員さんが先方に白波の立っているのを見て、「少し揺れるぞ」と言われたが、あまり気にもしていなかったところ伊予灘に入ったとたんピッチングとローリングに遭い、今まで大声で走り回り騒いでいた坊主連中も顔色がだんだん変わって、中には嘔吐する者、ぐったり座り込んだり船底へ入る姿が増えるのを見て小生も気分が悪くなり、操舵室あたりで我慢をしていたが、ついに甲板のベンチにしゃがんで耐えていた。やっとの事で初めての九州の地、別府に入港し直にバスに乗り換え地獄めぐりで血の池地獄・海地獄・雷地獄・竜巻地獄等々すべて初めて見る自然の現象に驚愕はしたが、鉄輪温泉の旅館に着いた頃にも未だ頭の中が揺れて収まらず、露天風呂に飛び込んだがしつこく頭の揺れは収まってくれなかった。夕食後、大広間に雑魚寝の布団を敷きに来てくれた女中さんを大勢で押し倒して布団を被せ着物の乱れる姿を見て騒ぎ、なかなか寝付かれず翌日先生に酷く叱られたが、歳をとってから出来る事では無く、今となっては若い頃の楽しい思い出として頭に残っている。

翌朝は大分から汽車に乗って素朴な駅である坊中からバスに乗り換え目的の阿蘇山噴火口へ。初めて見る大自然の活火山の光景。11月の中旬なのに可成り寒く、手も凍るように冷たくなり売店の火鉢へ一目散に走った。真っ赤に焼けている炭火の傍に手のひらを当てても温もりを感じず、そのままあたっているうちに手のひらが大きく膨らみ、慌てて擦り続けたが膨らみは取れず、下山後旅館に入ったところにやや引いてきた。昨夜女中さんを押し倒し今朝先生に叱られたばかりなのに又同じ悪戯を繰り返して再び叱られたが大勢なので一向に承えていない。2日目ともなると一寸慣れてきたのか、疲れが出たのか旅館では最後の夜なのに昨夜より若干早く床についていた。坊中より再び汽車に乗り大分へ。往路は多くの者が船酔いしたので帰路はあまり腹に食べ物を入れないう気をつけ慎んだ。(帰路の船はるり丸1800t)ところが、意に反して船は鏡の上を滑っているかのように機関の音だけが喧しく皆悔しがっていた。

小生にとっては人生唯一の修学旅行。あれから60年以上過ぎ遠い昔ではあるが、今でもあの情景が脳裏に鮮やかに残っており、良き友と二度とない楽しい1ページを作ってもらった事は、懐かしくもあり大きな財産であり生涯忘れることの出来ない思い出として今年、八十歳になる今でも大事に心の奥に閉っている。“修学旅行”諸兄・諸氏にとっては如何なものであったでしょうか。

「古稀を節目に3年目」

第28期(昭33年卒) 宮田 悠紀雄

平成23年6月25日(土) 17時集合。春先の脅威か?地球の異変?と言うには余りにも大きすぎる東日本大震災(死者・行方不明者を合わせ約2万人)誰かが数日間に及び毎日の様にテレビの前に釘付けになったのではないのでしょうか。そんな中で例年どうりの同窓会開催で良いのか、今年は中止すべきかとの考えに迷いましたが、何人かの同窓生が集まって年に一度の顔を合わせるにより、お互いの無事を確認することも大切ではないかとも思われ、古稀を節目に3回目の開催に踏み切りました。

会場は上本町のハイハイタウン3F老舗の「杯杯天山閣」で、当日私も5~6年振りに訪れることから町の様子が変わっているのではないかと心配がありましたが余りの変化もなくほっとして会場に入る。2時間近く早めに到着したため会場設営もこれからという状態であったが、間もなく校友会の田中事務局長がわざわざ補助金を持参して下さった。一度は参加戴けないかと幹事としてお誘いをさせて戴くも、ご多忙のため今回はご参加戴けなかった。

例年と変わりなく校歌斉唱~恩師・同窓生・そして今年は東日本大震災の被災者を含めた物故者への黙祷~校友会近況報告~大阪商業大学高等学校校友会への参加をお願いする~その後東京から出席の日垣兄の乾杯により懇親会が始まる。平成21年21名・平成22年23名・平成23年14名と3年間では一番の少数となったが各個人個人の懇談に関しては一番和やかな雰囲気になり盛りに上がっていた様にも感じられた。

懇親会半ばで、今後の開催に当たり3年も経過したので幹事の刷新について提案をしましたが、自薦・他薦を問わず審議させてもらうが、「現状維持」「万年幹事」「その他諸々」で決定的な候補者が出ないまま、来年も現状幹事のままで継続となる。

色々にご不満やご意見もあることとは思いますが現状の三人で頑張りますので皆さんのご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。 幹事一同



次回開催の予定

日時 平成24年6月23日(土) 開会 午後5時00分
会場 中国料亭「杯杯天山閣」TEL(06)6772-8100
(うえほんまち ハイハイタウン3F)

「森岡賢司氏 平成23年春の叙勲で『旭日双光章』受章」

第29期(昭34年卒) 湯谷 宋吾

この度、第29期生 森岡賢司氏が我々の同期として初めてとなる勲章が内閣府から授与されました。誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、我々同期生と致しましては、大変名誉なことでもありますのでご紹介致します。

勲章名 『旭日双光章』
氏名 森岡 賢司 第29期生(昭和34年卒業)
生年月日 昭和16年1月13日(70歳)
本籍地 兵庫県
事業所名 モリオカ商事(昭和47年4月創業。現在に到る)



社団法人 兵庫県宅地建物取引業協会で、長年に亘り不動産業界の発展に寄与され、業界を通じて地域社会に貢献された功績により叙勲の栄に浴されました。

このたびの叙勲は、ご本人の努力はもとよりご家族の皆様のお支えがあったことと存じ、改めて祝意を表す次第です。

今後は、ご健康に留意され業界及び協会の更なる発展と我々同期生の代表として、ますます活躍されますよう心からお祈り申し上げます。



森岡賢司氏(中央)と同期生「旭日双光章」受章を祝う会にて

第29期生(昭和34年3月卒業) 同期会

日時 平成24年6月16日(土) 開会 午後1時00分
会場 中国料亭「杯杯天山閣」TEL(06)6772-8100
(うえほんまち ハイハイタウン3F)

お知らせ

校友会では、同期会・クラブOB会を開催される場合は、些少ですが補助金を支給しています。情報を事務局までお寄せください。

また、「校友会誌」の紙面に開催案内のコーナーを設けますのでご利用ください。

「創部83年目のインターハイ出場」

第48期(昭53年卒) 五十川 精三
母校教諭 バスケットボール部顧問

大阪商業大学高等学校バスケットボール部が創部83年目、私が指導して28年目にして念願のインターハイ出場を果たすことができました。これも皆様方の多大なるご支援を頂いた賜物と、生徒共々感謝の気持ちでいっぱいでございます。

28年間、何事も一生懸命する心、何事も最後まであきらめない心、何事にも感謝する心、の三つの部訓を大切にやってまいりました。

今までの試合では、期待されながらも思うような結果を出せなかったこと、また、逆に力以上の結果を出せたこともございました。そのどんな時も部訓を大切に、へこたれることもなく、驕ることなく日々の練習に打ち込んでまいりました。それが実を結んだものと思っております。

7月24日、バスケットボールの街、秋田県能代市に入り、28日の埼玉県代表の西武学園文理高校との一回戦に備えました。

試合は、相手の高校が優位だと言われておりました。ところが、前半から本校の武器であるディフェンスから速攻で終始リードを奪い“71対58”で全国大会での目標であった一回戦を突破することができました。

二回戦は、愛媛県代表の新田高校との対戦となりました。前半はリードしたものの、後半はディフェンスが崩れ、72対80で負けてしまい、非常に悔しい思いをしました。

この経験は、今後の私達のチームに大きな課題を与えてくれたものと思っております。大変貴重な経験となる全国大会に出場できるよう、これからも日々努力を重ねてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



「夏の甲子園予選ベスト8」

母校教諭 硬式野球部顧問 高橋 克典

この夏、大阪予選大会において、逆転勝ちや、延長戦を切り抜けて久方ぶりにベスト8に進出し、甲子園の強豪大阪桐蔭高校と準々決勝戦で戦えた。“心を鍛え、自分の事より他人の事が出来る人物の養成”を第一として活動しています。

私たちの目標は「甲子園出場」ですが、その前に本校の建学の理念である「世に役立つ人物の養成」をめざし、本校の伝統に新たな歴史を築きあげられる人物を育成したい。

「平成23年度 ゴルフ部の活躍」

母校教諭 ゴルフ部顧問 前田 啓喜

今年は、3年連続団体戦に出場することができず、残念な一年間でスタートをいたしました。

しかし、個人戦の全国大会(夏の大会)では、3年生の宮内(男子)君、1年生の松田(女子)さんの2名が出場することができました。

また、日本ジュニア大会には、宮内・武井・山川の3名の男子が全国大会に出場いたしました。

今年度最後の大会は、全国高等学校春季大会で、昨年は、東日本大震災の為残念ながら中止となり選手は涙を飲みましたが、今年は、3月26日～29日に滋賀県大津市の瀬田ゴルフクラブで開催され、(男子)武井・山川・荒川、(女子)齋藤・松田の各選手が出場しました。

「挑戦。大阪市区長公募に応募して。」

第53期(昭58年卒) 東野 義晃

昨年は、「アラブの春」と呼ばれた中東・アラブ諸国における独裁政権の交代に始まり3月11日の東日本大震災という悲しい出来事もありましたが、春先の統一地方選挙で、まさかの橋下代表の率いる地方政党「大阪維新の会」の大躍進。秋の大阪府知事、大阪市長のW選挙でまさかまさかの連勝。一般大衆の、既存政党には出来ない現状打破を求める声の強さが光った年でした。

その中で、橋下市長の掲げる「大阪24区区長の公募」。応募条件は、1.日本国籍、2.マネージャー経験のある事の2点だけでした。私は、地元大阪市阿倍野区で、青少年向けに青少年指導員を経験。現在は、大阪市スポーツ推進委員を務めています。

永年、ボランティア活動を通じて感じた事を区役所のどの部署に言えば良いのか?わかりませんでした。正直、現在の阿倍野区区長はすごく我々住民に対して視線を向けていますがどうしても公務員の一ポスト。信頼が持てなかったです。それに阿倍野区には、住んでいません。地元の町に居住している住民だからこそ感じる諸問題1.不法駐輪場問題、2.高齢者対策、3.いじめ問題、4.就労問題などを、考える事が出来るのではないかと思います。

正直、提出課題である「希望区の問題、解決策、区長のマニフェスト」を論文で書くのには困りました。私の出身大学は、卒業試験は論文でなく学科試験でしたから。正直あれだけの志願者(新聞によると1300名弱とか?)の多さで多分、論文で撥ねられて一次試験落ちと思います。

でも、今までは違う世界の話であった政治や、区政に関して身近に考えられる様になったのには、橋下市政にはこれから期待大です。

P.S 欲は言わない。せめて一次試験を通過して二次試験で、橋下市長と会ってみたいですね。

特別寄稿

「オーストラリア修学旅行」

母校 第2学年主任 五十川 精三

第2学年の最大の行事である修学旅行を無事に終えることができ、今はほっとした気持ちでいっぱいです。昨年のシアトル・バンクーバーと違い、今年はゴールドコースト3泊5日の修学旅行でした。

行き先が決定するまでには、苦悩の連続でした。燃油サーチャージの高騰で1万円の追加徴収。これ以上高騰するようだったら行き先変更もせざるを得ないのではないかと…。ゴールドコーストへの修学旅行は海の藻屑と化してしまうのでは…。

それ以上の高騰もなく、何とかゴールドコーストへの修学旅行が実施できると判断できたときはどれほどうれしかったことでしょう。

この修学旅行の目玉は、初の試みとなるファームステイでした。生徒がそれぞれのファームに滞在することで、オーストラリアの文化を直に体験でき、絶対に多くのものを学べる絶好の機会になると信じておりました。しかし、初の試みであるところの不安もあり、期待と不安の狭間でその当日を迎えることになりました。

ファームステイをさせていただくボーデザートの村は、そんな私達の気持ちなど、どこ吹く風のようなあまりにも雄大な村でした。天気も一点の曇りもない晴天で、これまた私達の不安な気持ちなど忘れさせてくれるものでした。

村の集会所に、ステイ先のホストファミリーの方達が迎えに来てくださり、それぞれのホストファミリーに生徒を紹介し、一緒にステイ先のファームに移動するという段取りでした。

今は目の前のことしか考えられない表情で移動していく生徒達を精一杯の励ましの笑顔と声かけで送りだしました。

この時の生徒達の緊張きった様子は今でも忘れることができませぬ。「大丈夫だろうか？」この声が恐らく大半の生徒達の心の声であったように思います。生徒達は全部で79世帯のファームにわかれてお世話になりました。

私達は、何件かのステイ先を訪問させて頂きました。一番うれしかったのは、生徒の表情です。送り出したときの緊張した硬い表情とは全く違い、はげけんばかりのキラキラした笑顔で私達教員を迎えてくれました。ファームの方たちも知っている英語を最大限に駆使して会話している様子は本当にうれしかったです。中には、満天の星空を大草原の上に寝転びながら、時を忘れてしまった生徒もいたり…。普段日本にいたら絶対に経験できないような会話や大自然を体験してくれたようです。

日本に帰ってからの生徒達の感想は、「すごく楽しかった」「人の温かさを感じた」「自然や水の大切さを考えた」「頑張

って英語を使って話せた」など、前向きな気持ちのものでした。高校生という純粋で柔らかい心をもっているこの時期に、このような体験ができたことは生徒達にとっても私達教員にとっても一生の宝になると思っております。それも保護者の方、現地の方など関わっていただいた全ての方の思いの集大成の結果だと思っております。そして、その思いが天にも通じ、お天気にも味方してもらったと思っております。

本当にありがとうございました。



ボーデザート集会所にて
ファームの方たちとマッチング



ファーム先にて



ファーム先にて



トロピカルフルーツワールドにて
果物三昧！

平成23年度 校友会総会

平成23年5月21日(土) 大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」に於いて平成23年度校友会総会を開催した。

会長よりの挨拶に引き続いて母校の校長先生よりお祝いの言葉を頂戴して総会が始まった。

総会の詳細は割愛するが、以下に平成22年度事業報告と会計収支決算報告書・平成22年度に改選された役員一覧表を掲載する。

平成22年度 事業報告

- 22. 4. 6(火) 母校第83回入学式に参列
- 5. 8(土) 第1回本部役員会・幹事会 於 母校
- 5.22(土) 平成22年度総会・懇親会
 - 第1部 総会 於 U・コミュニティホール
 - 第2部 懇親会 於 U・コミュニティホール
- 6. 2(水) 母校第82回体育祭に参列
- 10. 3(日) 母校第51回文化祭
- 11.27(土) 第2回本部役員会 於 母校 第1会議室
- 23. 2.19(土) 母校第80回卒業証書授与式に参列
- 2.19(土) 第3回本部役員会 於 母校 小会議室
- 3.12(土) 第2回幹事会 於 母校 視聴覚教室

平成22年度 校友会会計収支報告書

(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
前年度繰越金	7,282,128	総会費	204,210
会費	1,315,000	懇親会費用	200,000
懇親会会費	126,000	役員会費	100,939
校友会活動賛助金	414,000	通信費	964,356
賛助広告料	285,000	印刷費	31,500
雑収入	5,278	交通費	0
		消耗品費	48,402
		雑費	0
		広報宣伝費	320,465
		諸集会費	30,000
		慶弔費	45,000
		育英奨学費	0
		クラブ活動補助	310,000
		学園祭補助	0
		予備費	189,682
収入の部合計	9,427,406	支出の部合計	2,444,554
単年度収入合計	2,145,278	単年度支出合計	2,444,554

収入総額 ¥9,427,406 - 支出総額 ¥2,444,554 = 次期繰越 ¥6,982,852

平成22年度の収支決算を監査の結果、財産状態 監査 矢森武昭
ならびに運営状況を適正に表示しています。 湯谷宋吾

平成23年5月7日

(印省略)

平成22年度改選 役員一覧表

(敬称略)

顧問 湯原 俊雄 (元校長 昭54.4~昭61.3) 尼子 東吉 (前校長 平16.4~平20.3)
 柴田 巖 (元校長 昭61.4~平4.3) 23(S28) 上原 洋允 (元大阪弁護士会会長)
 久間田 博幸 (元校長 平4.4~平9.3) 12(S17) 安田 敏雄 (元日本弁理士会副会長)
 厚母 眞一 (元校長 平12.4~平16.3) 大塚 信一 (現校長 平20.4~)

役職	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名	期(年)	氏名
(本部役員)								
相談役	19(S24)	城野 榮治	21(S26)	青山 兼光	21(S26)	澤邑 知明	23(S28)	玉置 修三
会長	23(S28)	岡田 誠一						
副会長	29(S34)	森田 賢二	29(S34)	宮原 健	31(S36)	大橋 貞弘	36(S41)	森田 宗弘
	38(S43)	藤原 昇	47(S52)	徳重 悟	48(S53)	五十川 精三	62(H4)	松尾 成彦
事務局長	38(S43)	田中 修						
書記	60(H2)	坂口 洋平	74(H16)	松田 周				
会計	28(S33)	赤部 功	63(H5)	田坂 隆司				
監査	23(S28)	矢森 武昭	29(S34)	湯谷 宋吾				
常任幹事	20(S25)	大村 計治	22(S27)	沖田 義彦	24(S29)	安藤 修	26(S31)	河野 圭二
	26(S31)	木下 正幸	26(S31)	藤川 良純	28(S33)	宮田 悠紀雄	28(S33)	澤井 駒一
	29(S34)	坂本 保彦	31(S36)	石河 鴻一	32(S37)	井野 早雄	34(S39)	仲野 明
	37(S42)	矢津 武志	38(S43)	真杉 信生	39(S44)	砂金 光夫	42(S47)	山口 弘
	43(S48)	佐藤 敏明	49(S54)	中井 司	56(S61)	酒井 淳	75(H17)	森安 義次
幹事	9(S15)	梅野 迪	19(S24)	島田 勇一	19(S24)	田中 清	26(S31)	山下 正
	27(S32)	清水 英五郎	31(S36)	高橋 隆男	31(S36)	堀口 順延	33(S38)	岡本 勝彦
	33(S38)	鈴木 哲士	35(S40)	正井 康久	35(S40)	石田 修	37(S42)	杉本 裕己
	41(S46)	生駒 幸一	47(S52)	田口 富雄	49(S54)	山岡 眞大	53(S58)	清水 尚義
	61(H3)	植田 恭啓	66(H8)	大橋 健弘	75(H17)	中村 隆都	76(H18)	大西 潤哉
	79(H21)	小島 アヤ	79(H21)	高橋 尚起	80(H22)	大井 孟	80(H22)	長石 智夏
	80(H22)	中河 真菜	80(H22)	後藤 彰久	81(H23)	藤崎 鈴香	81(H23)	松尾 雅之

平成23年度 校友会総会

於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」



平成23年度 校友会懇親会

於 大阪商業大学 4号館「S-terrace」 学生食堂



2011年度クラブ実績

印.....全国大会 / 印.....府県代表

硬式野球部	[昭和4年創部]
春季近畿地区大会大阪府予選	ベスト8
全国高校野球選手権大阪大会	ベスト8
秋季近畿地区大会大阪府予選	4回戦

バスケットボール部	[昭和4年創部]
インターハイ	2回戦
インターハイ予選	2位【全国インタイ - ハイ出場】
大阪総体(ウインターカップ予選)	ベスト16
大阪高校バスケットボール新人大会	6位
高嶋克希・村田卓夢(3年)	【国民体育大会大阪府代表】

陸上競技部	[昭和4年創部]
大阪総体(地区予選)	200m 5位 戸田靖章(2年)
商業大会	100m 3位 戸田靖章(2年)
	200m 2位 戸田靖章(2年)

卓球部	[昭和4年創部]
大阪高等学校選手権大会	
〔団体〕3回戦	〔シングルス〕3回戦 奥田迅輝(2年)
	〔ダブルス〕3回戦 江上魁人・角野大地(1年)
64ブロック大会	
〔シングルス〕3回戦	溝垣孝始(3年)・大嶋一郎(1年)
全日本ジュニア予選	
〔シングルス〕4回戦	谷藤 巧・堀川健太(1年)
大阪総体(近畿新人大会大阪府予選)	
〔団体〕	3回戦

剣道部	[昭和4年創部]
大阪府私学大会	
大阪インターハイ予選	
大阪総体	
大阪高校新人剣道大会	
〔団体の部〕	1回戦

柔道部	[昭和7年創部]
全日本ジュニア柔道大会	
〔個人の部〕池本龍治(3年) -60kg級	出場
近畿ジュニア柔道大会	
〔個人の部〕池本龍治(3年) -60kg級	優勝【全国大会出場】
全国選手権大阪府予選	
〔個人の部〕山田顕士(1年) -73kg級	ベスト8
	南 隆(3年) -81kg級
	ベスト8

軟式野球部	[昭和24年創部]
春季近畿地区大会大阪府予選	2回戦
全国高校野球選手権大阪大会	ベスト8
秋季近畿地区大会大阪府予選	2回戦
大阪私学大会	ベスト4

サッカー部	[昭和24年創部]
大阪高校春季大会	3回戦
全国高校サッカー選手権大阪大会	5回戦
大阪高校新人サッカー大会	2回戦
大阪U-18サッカーリーグ2010(2部)	5位
東大阪市民大会	準優勝

バレーボール部	[昭和30年創部]
全国高校総合体育大会大阪府予選	4位
近畿高校バレーボール優勝大会	ベスト8
大阪私学大会	準優勝
全日本バレーボール高校選手権大会大阪府予選	ベスト4
大阪高校新人大会	ベスト16

ラグビー部	[昭和32年創部]
大阪総体(ゾーン)	4位
中河内大会	優勝
大阪私学1年生大会	6位

ボクシング部	[昭和48年創部]
全国高校選手権大会大阪府予選	
浦田瑠偉(2年)	B級 初戦敗退
平康友大(2年)	L F級 初戦敗退
国民体育大会大阪府予選	
小田雅之(3年)	B級 初戦敗退
浦田瑠偉(2年)	B級 初戦敗退
平康友大(2年)	L F級 初戦敗退
近畿高等学校女子選手権大会(オープン戦)	
平尾奈々(1年)	P級 出場
関西女子大会(オープン戦)	
平尾奈々(1年)	P級 出場
大阪総体	
浦田瑠偉(2年)	B級 初戦敗退
平康友大(2年)	L F級 初戦敗退

硬式テニス部	[昭和49年創部]
大阪高等学校春季大会	
〔ダブルス〕本戦出場	坂本達也・西川穰ペア(3年)
大阪総体	
〔ダブルス〕3年生の部	3位 坂本達也・西川穰ペア(3年)

ゴルフ部	[平成19年創部]
全国高校ゴルフ選手権	
〔個人の部/男子〕宮内正人(3年)	
〔個人の部/女子〕松田なつき(1年)	
全国高校ゴルフ選手権春季大会	
〔個人の部/男子〕山川修主・武井北斗(2年)・荒川祐樹(1年)	
〔個人の部/女子〕松田なつき・齋藤リコ(1年)	
日本ジュニアゴルフ選手権	
〔個人の部/男子〕宮内正人(3年)	
朝日新聞杯関西高校ゴルフマッチプレー選手権決勝	
〔女子〕松田なつき(1年) 準優勝	
国民体育大会出場	田畑里紗(2年)【和歌山県代表】

囲碁・将棋部	[昭和52年創部]
近畿高校総合文化祭	
〔囲碁の部〕	田端勇氣(2年)【大阪府代表】

ダンス部	[平成23年創部]
日本高校ダンス部選手権	
ダンススタジアム西日本大会出場	
日本テレビ24時間テレビ「ダンス甲子園」	
オーディション出場	
N L A Presents スーパーライブ ナキワラ!2011	
パフォーマンス部門出場	

全国商業高等学校協会 簿記実務検定試験 合格者数一覧表

回数	実施日	1 級			2 級	3 級	合 計
		総 合	会 計	原 計			
68	平成 21 年 6 月 28 日	0	3	9	8	0	20
69	平成 22 年 1 月 24 日	4	5	4	12	30	55
70	平成 22 年 6 月 27 日		2	6	22	0	30
71	平成 23 年 1 月 23 日		0	8	10	115	133
72	平成 23 年 6 月 26 日		1	3	19		23
73	平成 24 年 1 月 22 日	1		5	42	136	184

= 受験せず

平成 23 年度 デザイン美術コース コンペ受賞数

第 2 2 回 全日本高校デザイン・イラスト展	入選	1 名
世紀のダヴィンチを探せ! 全国高校生アートコンペティション	入選	2 名
第 2 3 回 読書感想画中央コンクール	全国入選	1 名
	大阪地区 入選	1 名
第 4 回 サブローごまコンテスト	ZUNZO 賞	2 名
大阪府薬務課 献血ポスターコンクール	優秀賞	2 名
	入賞	2 名
エコ・アートフェスタ ゴミアート甲子園	佳作	

体育クラブ 各種大会一覧表(平成 24 年度)

軟式野球部		バレーボール部	
4 月 春季近畿地区高校大阪大会	6 月 全国高校総合体育大会大阪府予選	6 月 全国高校総合体育大会大阪府予選	
7 月 全国高校選手権大阪大会	7 月 近畿高校優勝大会	7 月 近畿高校優勝大会	
9 月 秋季近畿地区高校大阪大会	7・8 月 全国高校総合体育大会	7・8 月 全国高校総合体育大会	
10 月 大阪私学総合体育大会	8 月 国民体育大会近畿ブロック大会	8 月 国民体育大会近畿ブロック大会	
	9 月 大阪私学総合体育大会	9 月 大阪私学総合体育大会	
	10 月 国民体育大会	10 月 国民体育大会	
	10・11 月 全日本高校選手権大会大阪府予選	10・11 月 全日本高校選手権大会大阪府予選	
	1 月 全日本高校選手権大会	1 月 全日本高校選手権大会	
	1・2 月 大阪高校新人大会	1・2 月 大阪高校新人大会	
ラグビー部		ボクシング部	
4 月 大阪春季総合体育大会	4 月 全国高校選手権大阪府予選	4 月 全国高校選手権大阪府予選	
6 月 大阪私学総合体育大会	5 月 国民体育大会大阪府予選	5 月 国民体育大会大阪府予選	
6 月 大阪私学総合体育一年生大会	6 月 近畿高校選手権大会	6 月 近畿高校選手権大会	
6 月 大阪高校中河内大会	10 月 大阪高校総合体育大会	10 月 大阪高校総合体育大会	
9 月 全国高校選手権大会大阪府予選	1 月 大阪高校新人スパーリング大会	1 月 大阪高校新人スパーリング大会	
1 月 近畿大会大阪府予選			
サッカー部		柔道部	
4 月 大阪高校春季大会	5 月 大阪私学総合体育大会	5 月 大阪私学総合体育大会	
5 月 U-18 リーグ	6 月 全国高校総合体育大会大阪府予選会	6 月 全国高校総合体育大会大阪府予選会	
9 月 大阪高校総合体育大会兼選手権大会	7 月 大阪高校総合体育大会	7 月 大阪高校総合体育大会	
1 月 大阪高校新人大会	11 月 大阪高校新人柔道大会	11 月 大阪高校新人柔道大会	
	12 月 全国高校柔道選手権大会大阪府予選会	12 月 全国高校柔道選手権大会大阪府予選会	
硬式テニス部		陸上競技部	
4 月 大阪高校春季大会大阪府予選	5 月 大阪高校地区予選会	5 月 大阪高校地区予選会	
5 月 大阪高校春季大会団体の部大阪府予選	5 月 大阪高校選手権大会	5 月 大阪高校選手権大会	
7 月 大阪私学総合体育大会大阪府予選	7 月 大阪高校総合体育大会地区予選会	7 月 大阪高校総合体育大会地区予選会	
8 月 大阪高校総合体育大会大阪府予選	8 月 大阪高校総合体育大会	8 月 大阪高校総合体育大会	
9 月 大阪高校秋季大会大阪府予選	8 月 大阪私学総合体育大会	8 月 大阪私学総合体育大会	
	10 月 大阪高校秋季大会	10 月 大阪高校秋季大会	
硬式野球部			
4・5 月 近畿大会大阪春季大会			
7 月 全国高校野球選手権大阪大会			
9・10 月 近畿大会大阪秋季大会			
ゴルフ部			
8 月 全国高校選手権大会(団体)			
8 月 全国高校選手権大会(個人)			
8 月 日本ジュニア選手権競技大会			
3 月 全校高校選手権春季大会			

大学進学状況(3月12日現在)

四年制大学名	合格
大阪商業大学	92
神戸芸術工科大学	4
和歌山大学	1
愛媛大学	1
同志社大学	1
立命館大学	1
関西西大	1
法政大	1
龍谷大	3
近畿大	5
京都産業大	3
京都外国語大	1
関西外国語大	3
大阪経済大	1
大阪工業大	3
大阪電気通信大	5
愛知学院大	1
芦屋大	1
追手門学院大	5
大阪大谷大	1
大阪学院大	4
大阪経済法科大	4
大阪芸術大	8
大阪国際大	2
大阪産業大	6
大阪樟蔭女子大	1
大阪人間科学大	1
大手前大	3
関西福祉科学大	2
京都嵯峨芸術大	4
京都精華大	4
京都造形大	2
甲南女子大	2
神戸学院大	2
四天王寺大	14
鈴鹿国際大	1
摂南大	5
宝塚医療大	1
帝塚山学院大	1
帝塚山大	3
天理大	2
常盤会学園大	5
長崎国際情報大	1
奈良大	6
羽衣国際大	1
阪南大	11
姫路独協大	1
仏教大	1
大成学院大	2
桃山学院大	19
酪農学園大	1
四年制大学小計	254
短期大学名	合格
大阪女子短期大	3
関西外国語短期大	2
大阪産業大短大	3
大阪芸術短期大	2
奈良芸術短期大	1
清水海上技術短期大	1
芦屋学園短期大	1
堺女子短期大	1
関西女子短期大	1
高山自動車短期大	1
常盤会学園短期大	1
東大阪短期大	1
Whatcom Community College	1
短期大学小計	19
大学合格数総数	273

系列大学 = 大阪商業大学
神戸芸術工科大学・大阪女子短期大学

卒業証書授与式での「答辞」

本日は私たちのために、このような素晴らしい卒業式を開いていただいたことを、卒業生一同を代表して、厚くお礼申しあげます。

本日、ここに卒業を迎えることが出来たのは校長先生をはじめ、学内の教職員の方々のおかげであることは言うまでもありません。

気がつけばもう卒業といった感じもありませんが、私たちにとって大商大高校での三年間は、とても充実したものでした。実に多くの人々と出会い多くのことを学びました。それらの仲間は私にとって一生の宝です。

あつて当然の日々の授業も受けられなくなった今、先生方には様々なことを教えていただいたなあと、改めて気づかされました。おそらく、これからも「あの時先生が言いたかったのはこういうことだったのか。」と気づいていくでしょう。

後輩の皆さんは、こうした先生との貴重な授業をはじめ、雑談、ムダ話、暴露話や人生の苦勞話を聞き漏らさず、心にとどめておくことをお勧めします。きっと将来役にたちます。

事務室のみなさん、職員の皆さんにも感謝しています。そのほかの先生方にも様々な方面にわたり、学校生活を支えていただき、ありがとうございました。

さて、私たちの今の社会には、かつてないほど多くの問題があふれています。そのような社会で、いったい自分が何に価値を置くのかについて、自分なりに答えを出すことが、私たちに求められています。自らが問題を見出し、その答えを忍耐強く求めていくこと、すなわち「未来に希望を見出すこと」が今の私たちに必要であると思います。

私たちは、これから別々の道を歩むこととなりますが、希望と理想を胸に様々な諸問題を乗り越え、商大高校で学んだ

建学の理念「世に役立つ人物」を目指して行きたいと思っています。

最後になりましたが、今日まで私たちを見守ってくれたお父さん、お母さんにお礼を述べたいと思います。家や学校で色々なことがありましたが、私たちをここまで育てていただいたことは、今になってみると感謝の気持ちでいっぱいです。そのありがたさに今まで気づかないことばかりでした。まだ暫らくは迷惑をかけますが、早く恩返しができるよう一生懸命がんばりますので、どうかよろしくお願いします。今までありがとう。

さあ、いよいよ私たちは、この学校を巣立つことになりました。その先に広がる厳しい社会の中で、様々な試練が待っています。しかし、どんな状況の中でも「前へ、前へ」着実に前進していきたいと思っています。

そして、いつの日か、未来の子どもたちに向かって、自分の人生について、誇りをもって語れるような日が来るとを願って、私たちのお礼の詞といたします。

平成24年3月 卒業生進路状況 (ゴシック=系列大学) (3月12日現在)		
進路状況	合格	割合
大阪商業大学	89名	25.5%
神戸芸術工科大学	4名	1.1%
大阪女子短期大学	3名	0.9%
他四年制大学	139名	39.8%
他短期大学	16名	4.6%
専門学校	56名	16.0%
就職	11名	3.2%
その他未定・出願中	31名	8.9%
卒業生総数	349名	100.0%

<p>第22期(昭27年卒)</p> <p>谷口 厚生</p> <p>八尾市福万寺町 5-25-30 TEL&FAX 072-999-1663</p>	<p>第31期(昭36年卒)</p> <p>曾我川緑地体操の会 リーダー 木村 正秀</p> <p>橿原市中曾司町 254-14 TEL 0744-35-4695 携帯 090-1528-1784</p>	<p>第52期(昭57年卒)</p> <p>バスケットボール部OB会会長 佐竹 健司</p> <p>東大阪市吉田 7-8-3 TEL 072-964-2455</p>	<p>第57期(昭62年卒)</p> <p>大東鋼業株式会社 専務取締役 細尾 忠広</p> <p>東大阪市加納 4-5-15 http://www.dai-to-kogyo.jp/</p>
<p>第62期(平4年卒)</p> <p>田中 伝四郎</p> <p>大阪市西淀川区福町 10-13 TEL&FAX 06-6471-5714</p>	<p>第66期(平8年卒)</p> <p>創作菓子 SinSin 真心 オーナーシェフ 二階堂 洋平</p> <p>東大阪市長田西 2-7-32 OPEN 10時~19時 TEL06-7504-6406</p>	<p>第22期(昭27年卒)</p> <p>校友会 常任幹事 沖田 義彦</p> <p>東大阪市中小阪 1-3-8 TEL&FAX 06-6722-4901</p>	<p>第23期(昭28年卒)</p> <p>校友会 監査 矢森 武昭</p> <p>堺市南区新松尾台 3-3-3-104 TEL 072-299-5183</p>
<p>第28期(昭33年卒)</p> <p>校友会 常任幹事 澤井 駒一</p> <p>八尾市本町 6-14-8-4003 TEL&FAX 072-970-5540</p>	<p>第29期(昭34年卒)</p> <p>校友会 副会長 宮原 健</p> <p>和歌山県和歌山市矢田町 5895-34 TEL&FAX 0743-52-4100</p>	<p>第31期(昭36年卒)</p> <p>校友会 幹事 高橋 隆男</p> <p>大阪市福島区玉川 2-3-16-1418 TEL 06-6441-2078</p>	<p>第38期(昭43年卒)</p> <p>校友会 事務局長 田中 修</p> <p>東大阪市石切町 2-8-25 TEL&FAX 072-987-9618</p>
<p>第38期(昭43年卒)</p> <p>ファンシーカンパニー・ジャズ・オーケストラ FUNNY COMPANY JAZZ orchestra</p> <p>校友会副会長 藤原 昇</p> <p>泉大津市松之浜町 1-17-11 TEL&FAX 0725-33-3904</p>	<p>第47期(昭52年卒)</p> <p>校友会 副会長 徳重 悟</p> <p>大阪市此花区春日日出北 3-8-9 TEL 06-6464-6418</p>	<p>新テイコク薬業(株)</p> <p>取締役社長 藤川 良純 第26期 昭和31年卒業</p> <p>〒577-0816 東大阪市友井 5-4-39 TEL 06-6722-2518</p>	<p>大阪・港 海遊館通り 喫茶 軽食 ロマン</p> <p>矢津 武志 第37期 昭和42年卒業</p> <p>〒552-0021 大阪市港区築港 4-3-24 TEL&FAX 06-6571-1579</p>

賛助広告の募集

第12号の予約をしてください。

詳細は、p.19を参照してください。

第48期(昭53年卒)
校友会 副会長(母校教諭)
五十川 精三
大阪府南河内郡太子町山田 823-6
TEL 0721-98-0653

第49期(昭54年卒)
株式会社 壽精工 工場長
中井 司
東大阪市中野 1-19-24
TEL 072-967-1836

住まいの
総合商社



戸建住宅・注文住宅・建築・設計・施工
大黒住建株式会社
愛知 浩
第54期 昭和59年卒業
大阪府羽曳野市野々上2丁目11番3号
TEL(072)938-2551・FAX(072)938-2513

植田 生花
稽古用盛花・御流儀・家庭用盛花
各種アレンジ花・生込み
代表 植田 恭啓
第61期 平成3年卒業
〒581-0874 八尾市大竹 7-254
TEL(072)941-0841 FAX(072)941-0848

城商 15期生
(昭和20年卒業)
廣岡 保
〒675-0115
兵庫県加古川市
平岡町一色 641-15
電話 (0794)36-0069


営
業
品
目

- ビニール生地
- ビニールテープ
- ビニール製品・印刷
- ポリシート・腕章
- のぼりポール・スタンド
- 及 切 断 加 工

M 長堀化成品株式会社
代表取締役 **大橋 貞弘**
第31期 昭和36年卒業
萩野 充 第51期 昭和56年卒業
大橋 健弘 第66期 平成8年卒業
〒542-0082
大阪市中央区島之内 1-17-14
TEL(06)6252-6868(代)
FAX(06)6243-2678

菓子食品問屋 モリタ
代表 森田 賢二
第29期 昭和34年卒業
〒577-0016 東大阪市長田西 1-3-10
TEL(06)6788-1667・FAX(06)6788-4776

丸三運輸倉庫株式会社
代表取締役社長 **宮田 宏**
第30期 昭和35年卒業
本社 〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 1408-1
新原工業団地内
 
TEL 092(957)0270(代)
FAX 092(957)0271

土木・建築・設計・施行
 **木下建設株式会社**
代表取締役 **木下 正幸** 第26期 昭和31年卒業
木下 幸人 第50期 昭和55年卒業
本社 〒564-0042
吹田市穂波町 26番 13号
TEL(06)6380-1111(代)
支店 〒566-0064
摂津市鳥飼中 3丁目 6番 40号
TEL(0726)54-9473

TESSUTO
代表取締役 **砂金光夫** 第39期 昭和44年卒業
株式会社 テスート
〒579-8027 大阪府東大阪市東山町 4-1
TEL 072-986-5357 FAX 072-986-5359
E-Mail infomation@tessuto.co.jp

株式会社 **ヨシダ** 寝装品製造販売
株式会社 **ヨシダ** 福祉事業部
大連新元吉田室内用品有限公司
代表取締役 **森田 宗弘**
第36期 昭和41年卒業
本社営業所 橿原市西新堂町 100-2 番地
エム福祉タクシー 奈良県全域
訪問介護センター(2970500803)
TEL 0744-24-2967 FAX 0744-25-1285
中国大連工場 中国大連市出口加工1区1-1
大連新元吉田室内用品有限公司
TEL 0180641187545138
FAX 0180641187545238

土木建築業
 **杉本建設**
杉本 裕己
第37期(昭和42年卒業)
〒643-0041
奈良県橿原市和田町 3番 1号
TEL & FAX : 0744-27-6543
携帯電話 : 090-9709-4745

貸地・貸車庫 杉山文化教室
書道・水墨画・詩吟道

杉山 瀧藏

第11期 昭和16年12月卒業

〒577-0015 東大阪市長田2-17-11 電話(06)6784-1120

ヘアブラシ、ハブラシ、洋服ブラシを創り続けた
創業80余年の実績



第23期 昭和28年 卒業

代表取締役会長 池本 繁喜

品質がメッセージ

池本刷子工業株式会社

本社：〒578-0934 東大阪市玉串町西1-3-27
PHONE 072-964-2331 FAX 072-964-3383
support@ikemoto-brush.co.jp http://www.ikemoto-brush.co.jp/
東京営業所：〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11-8
PHONE 03-5623-3040 FAX 03-5664-5330

活の味

鰻一筋

住吉うなぎ

さち

増田 猛雄

第三十七期(昭和四十二年卒)

〒五五八 〇〇三三

大阪市住吉区遠里小野五丁目二一 一八

あびこ道バス停 南五〇米

電話(〇六)六六九五 六〇四〇番

定休日 毎週水・木曜日連休

田坂会計事務所

所長 税理士 田坂 隆司

第63期 平成5年卒業

550-0014
大阪市西区北堀江2-6-18
アドバンス心齋橋NEXTURE 701号

TEL 06(6532)8533 FAX 06(6532)8534
URL <http://www.tasaka-kaikei.com>
e-mail tasaka-kaikei@tkcnf.or.jp

かきかた教室を開きませんか

独自に開発した読み書きの教材「花文字」と「ピーターパン」
を使って開塾のお手伝いをさせていただきます。

また、現在書道塾を運営されている方もこのテキストをご活用ください。

ユニークで楽しい教材、花文字

日本教育書道会

編集・発行責任者 伊藤 影心

(第29期 昭和34年3月卒業 伊藤 榮信)

詳細は、ホームページを参照してください。

<http://www.eisinzemi.com>

または

発売元 株式会社 羽山商店

537-0003 大阪市中央区材木町2番4号
TEL : (06)6942-3464
FAX : (06)6941-9475



安田岡本特許事務所

“新しいモノづくりへの挑戦”

特許権や商標権を始めとする知的財産権の保護・活用は、わが国産業活性化のための最も重要なファクターです。知的財産権は何も大企業だけのものではありません。むしろ中小企業、ベンチャー企業の皆様にとってこそ、この不況の中で“勝ち組”となるための必須条件です。

安田岡本特許事務所は、国内はもとより外国出願、さらに侵害訴訟を含む紛争解決においても長年の経験とノウハウを蓄積しており、常に皆様の良きビジネスパートナーであり続けたいと考えています。

特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産に関するご相談がございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

お陰様で同窓生の皆様方から多数のご相談を賜っております。

〔 所長 弁理士 安田 幹雄 〕

パートナー	弁理士	岡本	宜喜
	弁理士	国立	久
	弁理士	片桐	務
	弁理士	武藤	正

総員26名(弁理士含む)

12期・本校元教諭

会長 弁理士 安田 敏雄

- 会長略歴 -

昭和17年12月	本校卒業(第12期)
昭和21年	官立大阪工業専門学校 (現大阪府立大学工学部)卒業
昭和21年~35年	本校教諭(物理,化学,商品学)
昭和32年	弁理士登録
昭和53年	弁理士会(現日本弁理士会)副会長
平成3年	黄綬褒章受章
平成9年	勲五等双光旭日章受章

〒577-0066

大阪府東大阪市高井田本通7-7-19 } しょうり 昌利ビル7階・6階
 地下鉄中央線「高井田」駅 号出口 } 西へ徒歩1分
 JRおおさか東線「高井田中央」駅

TEL 06-6782-6917(代表)

FAX 06-6782-6900

E-mail : main@actelpat.com



本社(中央区森ノ宮)



本 社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-17
 TEL 06(6942)-2651 FAX 06(6942)-2670

不動産プランナー

宅建免許 大阪府知事(6)40169号

株式会社 **岡田本社**

<http://www.okada-inc.co.jp>

代表取締役 **岡田 誠一** (第23期 昭和28年卒業)

おかげさまで卒業生数23年間連続大阪No.1

甲種普通 普通二輪 大型二輪 普通二種
高齢者・初心者・違反者・ペーパードライバーの各種講習

地域と歩む安全運転センター八戸ノ里ドライビングスクール



大阪府公安委員会指定

八戸ノ里ドライビングスクール

やえのさと



〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38 ☎0120-831024 取締役会長 谷岡 剛(第25期 昭和30年卒業)

酵素一筋 37年 生命あるところに酵素あり

商品のご紹介

商品名: 酵素飲料「モルセラ デラックス」
名称: 純植物性酵素飲料(清涼飲料水)
内容量: 1,000ml
商品説明: 旬の野菜・果物・穀物・野草・海草・樹液など、約60種類の原材料から特殊技術でエキスを抽出し、大切に熟成発酵させた手作り酵素飲料です。
販売者: 株式会社 アリカ
生産国: 日本
お召し上がり方法: 1日2~3回を目安に、原液のまま、または氷で割ってお召し上がりください。

発酵に適した木製の桶に原料を仕込みます。素材の持ち味を活かすため、時間と手間を惜しまず手作業にこだわっています。

旬の素材を中心とする。六十種類以上の新鮮な野菜、果物、海藻、穀物、樹液などが含まれています。

添加物や水、熱は使わずに、じっくりと熟成します。この間、さらに成分が凝縮され、味わいもまろやかになります。



酵素は自然の贈りもの。

株式会社 アリカ

〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-8 天神センタービル6F

赤部 功 第28期(昭和33年卒業)

☎ 0120-11-0204

24時間受付(月曜~土曜 AM10:00~PM8:00)

日曜夜間は留守番電話が承ります

FAX 0120-22-3782 [24時間受付]

送料は当社負担。

商品はお申込み後1週間以内にお届けします。

支払は代金引換、又は各種クレジットカード。(手数料無料)

返品は未開封に限り8日以内。(返送料はお申込者負担)

さあ、次はあなたです!

今ならキャンペーン実施中!

税込・全国送料無料



飲む美容液「酵素飲料」

モルセラ デラックス

1本(1,000ml)

通常価格 15,750円 → 特別価格 9,450円

さらに
お得!

3個セットで1個当り 8,505円

6個セットで1個当り 7,560円

『 校友会活動賛助金 』のお願い

本会の目的(会則第3条)を達成するためには、各種事業を計画・立案することになり、かなりの資金を必要とします。

毎年、総会開催に伴う諸経費、母校の周年事業の協賛や校友会の今後の活動のための資金として、皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」としてお願いしております。

今年も一口¥1,000(何口でも可)の温かいお志をお願いいたします。

送金方法：郵便振替(別紙「払込取扱票」を利用)

口座番号：大阪0960-5-67967

加入者名：大阪商業大学高等学校 校友会

『 役員 』の要請

平成22年度に改選いたしました役員は、本誌p.10のとおりです。(平成23年度 一部追加。)

平成25年度総会で役員を改選します。積極的に役員として活動していただける方は、自薦・他薦を問わず、校友会事務局までお申し出下さい。特に、幹事は各期に最低一名はお願いしたいのですが、充分ではありません。ぜひ、積極的に申し出をお願いします。

役員活動内容

本部役員：年間3回の本部役員会と年間2回の幹事会に出席して、諸審議に参加していただきます。

幹事：年間2回の幹事会の諸審議に参加し、総会に向けての準備と当日の役割をお願いします。

『 賛助広告掲載 』のお願い(予約願います)

次号(第12号)に賛助広告掲載のご協力を!

校友会だより「校友会誌」の発行には多額の資金を必要とします。皆様方のご協力をよろしくお願いします。

- 広告サイズ：A横 4.7cm×縦 2.3cm ¥3,000(名刺広告)
- B. 4.7cm× 4.6cm ¥5,000
 - C. 4.7cm× 6.9cm ¥8,000
 - D. 9.5cm× 4.6cm ¥10,000
 - E. 9.5cm× 9.2cm ¥15,000
 - F. 9.5cm× 13.8cm ¥20,000
 - G. 19.0cm× 9.2cm ¥25,000
 - H. 19.0cm× 13.8cm ¥30,000

申込み締切：平成25年3月9日(土)

広告料：次年度配布の「払込取扱票」にてお振込みの上、広告原稿をお送りください。

『 校友会だより「校友会誌」』の原稿募集

次号(第12号)に原稿投稿のご協力を!

校友会活動を充実させるため、校友会だより「校友会誌」を発刊しています。より充実した内容にするためには、皆様よりの投稿が不可欠です。

下記により原稿を募集していますので、ぜひ、投稿していただきますようお願いいたします。

なお、同期会・クラブOB会の案内コーナーを設けますので、情報を事務局までお寄せください。校友会から些少ですが補助金を支給させていただきます。

原稿の内容：同期会・クラス会・クラブOB会などの状況や感想文・短歌俳句など、どんな内容でも可。写真や資料の提供もお願いします。

原稿提出期限：平成25年3月9日(土)

原稿送付先：大阪商業大学高等学校 校友会 事務局 〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10

TEL：06-6781-3050 FAX：06-6781-8972 Eメール：info@kouyuukai.org

会誌発行日：平成25年4月15日(月)の予定

平成23年度 (敬称略)

賛助金・賛助広告協力者芳名

皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」および「賛助広告」としてお願いいたしましたところ、多数の皆様からご協力を賜り、ありがとうございます。

お蔭様で、賛助金・賛助広告を合わせまして約720,000円の浄財を拠出していただきました。深く感謝申し上げます。

芳名記載には、万全を期したつもりですが、記載漏れ等がありましたらご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金+賛助広告	賛助広告	賛助広告
15(S20) 廣岡 保	23(S28) 岡田 誠一	61(H 3) 植田 恭啓
26(S31) 木下 正幸	池本 繁喜	66(H 8) 二階堂洋平
28(S33) 赤部 功	矢森 武昭	
29(S34) 宮原 健	25(S30) 谷岡 剛	賛助金
31(S36) 大橋 貞弘	26(S31) 藤川 良純	第14期 城友会
36(S41) 森田 宗弘	28(S33) 澤井 駒一	第31期 同期会
37(S42) 増田 猛雄	29(S34) 森田 賢二	8(S14) 岡田 卓造
38(S43) 田中 修	30(S35) 宮田 宏	9(S15) 梅野 迪
47(S52) 徳重 悟	31(S36) 堀口 順延	8(S14) 今木健一郎
49(S54) 中井 隆司	木村 正秀	9(S15) 阪田 一男
63(H 5) 田坂 隆司	37(S42) 矢津 武志	10(S16) 矢田貝善雄
	38(S43) 藤原 昇	田中喜久雄
	43(S48) 稲葉 照夫	田中 政輔
	45(S50) 吉川 勝教	11(S16) 高鶴 邦彦
	48(S53) 五十川精三	榎 利昭
	52(S57) 佐竹 健司	14(S20) 八島喜久榮
	54(S59) 愛知 浩	北村 寛

賛助金	賛助金	賛助金	賛助金
27(S32) 清水英五郎	45(S50) 谷垣 和夫		
28(S33) 宮田悠紀雄	47(S52) 田口 富雄		
15(S20) 横井 辰夫	48(S53) 牧山 孝司		
17(S22) 浅島 巖	49(S54) 梶田 昇		
田中 清	51(S56) 斧田 政文		
19(S24) 次田 幸雄	53(S58) 匿名希望		
小清水英二	匿名希望		
20(S25) 篠浦 一朗	清水 尚義		
坂上 猛	植田 洋		
笠 正男	56(S61) 武内 繁幸		
21(S26) 住本 重雄	57(S62) 野田 元祐		
植田 正夫	60(H 2) 匿名希望		
大藪 稔	木下 幸也		
澤邑 知明	尾上 憲彦		
見矢 明	62(H 4) 前川 和義		
橋本 修	64(H 6) 平尾 大樹		
22(S27) 岩脇 明	73(H15) 品川 琢哉		
中川 勉	80(H22) 中谷 英之		
吉岡 健	81(H23) 松尾 雅之		
谷口 厚生	徳山 雄大		
23(S28) 岩永 善次			
玉置 修三			
川上 明雄			
宮野 友義			
西川 宣之			
24(S29) 慶田 欽一			
中瀬 訓任			
安藤 修			
26(S31) 中橋 祥起			
真鍋 安男			
31(S36) 東條 勝			
木戸 守正			
高橋 隆男			
吉田 史朗			
石河 鴻一			
35(S40) 南宅 英治			
正井 康久			
石田 修			
37(S42) 西田 正樹			
久山 敬二			
41(S46) 松井 義範			
42(S47) 大森 輝義			
44(S49) 北口 登			

11号賛助広告予約

- 29(S34) 伊藤 榮信
- 39(S44) 砂金 光夫
- 57(S62) 細尾 忠広
- 62(H 4) 田中伝四郎

数字 = 期(卒業年)
S = 昭和, H = 平成
太字 = 11号賛助広告予約

平成 24 年度 校友会 総会

平成 24 年 5 月 19 日(土)

総会 於 大阪商業大学高等学校 本館 2 階「大会議室」

開会 午後 3 時 00 分 (受付 午後 2 時 30 分)

議案 事業報告 決算報告 監査報告 役員の追加
事業計画 予算審議 その他

新校舎見学会 総会終了後 約 30 分

懇親会 於 U・コミュニティホテル「U・コミュニティホールL」(TTSセンター 6 階)

開会 午後 5 時 30 分 (受付 午後 5 時 15 分)

懇親会費は、今回に限り無料とさせていただきます。

総会および懇親会参加希望者は、5 月 12 日(土)までに、「返信用はがき」に必要事項をご記入のうえお申し込みください。

ただし、払込取扱票で校友会活動賛助金・賛助広告料を振り込まれる方は「返信用はがき」を省略してください。

問い合わせはメールで : info@kouyuukai.org



編集後記

平成 13 年 5 月、長年の懸案でありました同窓会組織の整備,そして発足総会の開催から本年で満 11 年。本年 5 月には第 12 回目の総会を迎えることになりました。

昨年は、東日本大震災・福島原子力発電所の重大な未曾有の大災害,更には奈良・和歌山・三重各県における台風 12 号による豪雨の被害など言葉に尽くせない程の衝撃的な出来事が続いた大変な年でありました。

さて、校友会では「校友会だより」と「校友会会報」を【校友会だより「校友会誌」】としてリニューアルして、全会員に頒布し好評を博しました。今年も昨年同様、第 11 号を編集発行し皆様にお届けすることが出来ました。今後も、皆様よりの諸情報や母校の様子などを掲載

し、より充実した「会誌」になるよう努力いたします。

母校では、新校舎の建設と旧校舎の耐震工事や本館東側に憩いの広場が完成し見違えるほどの教育環境になりました。

今回の総会は、皆様に新しい時代の母校を見ていただきたく会場を母校の大会議室で実施することにいたしました。

そこで、校友会発足以来 10 年が経過し、母校の新校舎竣工・旧校舎の耐震工事や本館東側の「憩いの広場」の完成を記念して懇親会の費用を全額校友会の予算で賄うことにいたしました。

友人知人と誘い合わせて一人でも多くの参加をお待ちしております。
(編集人)